



楓の森アップデート3



合志市立合志楓の森小学校
学校だより 第16号
令和7年12月10日(水)
文責:校長 佐藤 政臣

○校訓「志高く 道を拓く」 ○学校教育目標「夢を持ち 自ら考え よりよく行動できる児童の育成」

人権月間での学び

本校では、11月4日(火)～12月5日(金)までの間を人権月間として、共通教材や人権集会を通して、いじめや差別について、深く考える取組を行いました。

～委員会活動の取組から～

11月19日の全校集会では、人権委員会が「自分がいやなことを人にしないこと」や「いじめられている人がいたら注意をしたり、先生にいったりして、知らない振りをしないこと」などを、寸劇を交えて発表しました。



～人権集会で学びを深める～

また、人権集会を各学年単位で行い、各教室での学びについて発表したり、気付きや考えをグループで意見交換したりしました。



写真は、6年生の人権集会(12/5)の様子です。教材で学習したことを発表し、その発表に対してお返しをするなど、グループで意見交換することができました。最後に校長講話を进行了。校長講話では、次の3点について話しました。

「① いじめを見た時に、見て見ぬ振りをしないこと(注意できる人になること、できない時は、周りの助けをかりて止めること)、② 相手の気持ちを考えて行動すること、感じる心が大切であること、③ 1人でいいから自分の悩みを相談できる本当の友達をつくること」

いじめや差別について、自分ごととして考え、行動できる人になってほしいと願います。

～合志市人権フェスティバルに参加して～

12月6日(土)、ヴィーブルメインアリーナで「第20回合志市人権フェスティバル」が開催されました。

まず、子どもたちの発表では、杉並台保育園の園児と合志中学校の生徒が発表しました。それぞれの園や学校で、自分や周囲の人たちの気持ちを考えながら学習したことを堂々と発表することができ、すばらしい内容でした。

次に、武田真一さん(フリーアナウンサー)の講演が行われました。武田さんは、1967年生まれの熊本県出身で、1990年にNHKに入局されたエグゼクティブアナウンサーです。NHK時代は「ニュース7」、「クローズアップ現代+」、「紅白歌合戦」の総合司会などを担当されました。現在は、NHKを退社され、フリーアナウンサーとして活躍されています。武田さんは、地方局に赴任した際、人と人とのふれあいにより、心をつなぐことができ、疲れていた自分自身や家族が元気になったことを話されました。

「人生の選択には、右へ行った方がいいのか、左へ行った方がいいのか、どっちに行った方がいいか迷うことがある。しかし、どっちに行くかが問題ではない。決めた道を自分でよくすることが大切だと思う。ガタガタ道だったら、レンガを敷き詰めればよい。道を選ぶことに力を入れるのではなく、選んだ道で丁寧にがんばることに力を入れるべきある。」という人生観もお話しになりました。

最後に、熊本地震のリポートをされたシーンは、演題である「言葉に心を浸して～心をつなぐ、命をつなぐ」シーンと重なり目頭が熱くなりました。

～人権ポスター・標語入賞おめでとう～

人権フェスティバルの冒頭に、ポスターと標語の表彰式がありました。入賞した皆さん、おめでとうございます。

○ポスターの部入賞

3年 古荘紗愛さん
【ポスター】



○標語の部入賞 1年 鈴木虹望桜さん

【標語】 「おもいやり かさねるたびに
こころつなぐ」